

双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト
キックオフフォーラム開催のお知らせ
（「新しい東北」先導モデル事業により支援）

- 復興庁では、平成27年度「新しい東北」先導モデル事業で、「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」（広野サステナブルコミュニティ推進協議会）を選定・支援しています。
- このプロジェクトでは、広野パークフェスや防災緑地でのプレゼントツリーの実施、特産品を活用した商品開発を通して、地域外との交流を促進するとともに広野町民の仕事を創出し、町民の帰還促進とコミュニティの再生につなげます。
- 7月10日・11日には、福島県広野町において、首都圏からの参加者と地元の参加者の意見交換などを内容とした1泊2日のキックオフフォーラムを開催します。

（詳細については別紙をご参照ください。）

【開催日・場所】

開催日：7月10日・11日

場 所：福島県広野町

【主な内容】

（7月10日）

- ・被災地訪問（Jビレッジ、大熊町民立寄所など）
- ・アルパインローズでの交流会
- ・民泊

（7月11日）

- ・広野町の地域資源視察（ニツ沼総合公園など）
- ・ふくしまオーガニックコットン製品販売会
- ・車座ワークショップ

新
し
い
東
北

問い合わせ先：復興庁 総合政策班
電話：03-5545-7463
03-5545-7230
参事官補佐 地主

取材のご案内

福島県広野町住民と首都圏住民とがタッグを組んで町おこし
町長や町民宅に首都圏参加者が民泊・車座になって未来を語るワークショップ

平成 27 年度復興庁「新しい東北先導モデル事業」
広野わいわいプロジェクト第 1 弾 キックオフフォーラム開催
(7 月 10 日・11 日 福島県広野町)

1. 「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」について

広野サステナブルコミュニティ推進協議会は、今年度、復興庁「新しい東北」先導モデル事業の一環として、「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」に取り組みます。東日本大震災後、約半年間に渡って町全域が緊急時避難準備区域に指定されていた広野町では、いまだに帰還した町民が半数以下にとどまっています。このプロジェクトでは、町民の帰還促進とコミュニティの再生につなげるため、地域外との交流拡大や地域での雇用創出を通して広野町の賑わいを取り戻すことを目的としています。

具体的には、次の 3 つの取組を進めていきます。

(1) 広野パークフェスの開催

いわき市で毎月開催している「パークフェス」の企画に携わるいわきおてんと SUN 企業組合やいわきパークフェスの出展者等の協力を得て、賑わいの創出につながるイベントを広野町でも定期的で開催できるよう、10 月・12 月・3 月の 3 回に渡る広野パークフェスの開催を通じてノウハウを移転します。

(2) プレゼントツリー in 広野

大切な誰かや自分自身の人生の記念日に木を植える贈り物をする「プレゼントツリー」を、広野町で新たに整備される防災緑地で実施します。プレゼントツリーの贈り主は 10 年間に渡って木の里親となるため、長期に渡るプレゼントツリーの里親と広野町の間を構築するきっかけとなります。平成 28 年 3 月には植樹祭を開催する予定です。

(3) 女性の手仕事づくり

首都圏からのボランティアが参加して栽培しているオーガニックコットンや、オリーブ、ミカンなどの特産品を活用した手作りの商品開発を行います。広野町からいわき市に避難していたお母さんたちの仕事づくりとして「コットンベイブ」の商品開発を行った「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」のネットワークを生かし、広野町の女性の仕事を創出します。

広野町でのこのような取組は、これから帰還が始まる檜葉町や富岡町にとっても参考となる試みであり、双葉八町村全体の住民の帰還促進、コミュニティの再生につながるものであると考えています。

2. キックオフフォーラムの開催について

【別紙】

広野サステナブルコミュニティ推進協議会は、認定NPO法人「JKSK女性の活力を社会の活力に」が主催する「結結プロジェクト 第8回車座」と連携し、「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」の第1弾として、福島県広野町で1泊2日のキックオフフォーラムを開催します。キックオフフォーラムでは、首都圏からの22名の来訪者と地元住民が共に町内の地域資源を見て回るとともに、その資源を活用して広野町をもっと魅力あるものにするためのアイデアを出し合うワークショップを行います。このワークショップは50人規模で行われ、そこでの協議を受けて今後プロジェクトでの具体的な取組メニューが形作られることとなります。

首都圏からの参加者は、広野町長宅をはじめとする8軒の地元参加者宅に「民泊」し、首都圏からの参加者と地元参加者との交流を深めます。

【JKSK第8回車座交流会&キックオフフォーラム行程】

7月10日（金）

7:00	首都圏参加者新宿発 バス（中型）にて広野町へ
11:00	広野町インター着
11:15	広野町中央体育館会議室にて昼食と現地参加者との顔合わせ
12:15	被災地訪問 広野町～Jビレッジ見学・講話：原発復旧工事の最前線・広野町長歓迎挨拶～（広野インター～常磐道～富岡インター）～大熊町民立ち寄り所じじい部隊による中間貯蔵施設ジオラマ見学～一般道を南下しながら視察（夜の森・富岡駅前・がれきの焼却処分施設・檜葉町フレコンバッグの並ぶ耕作放棄地）～広野町
17:00	アルパインローズにて歓迎交流会
21:00	民泊（東京からの参加者は広野町の参加者宅に分かれて宿泊）

7月11日（土）

8:00	民泊先にて朝食
8:30	広野町中央体育館集合 広野町の豊かさ、地域資源を知っていただく視察 さくらプロジェクト作業現場～浅見川沿いのふくしまオーガニックコットン栽培地～防災緑地造成地～稲作の行われている地域 あいがも農家～二ツ沼総合公園オリーブ栽培～みかんの丘
12:00	広野町中央体育館会議室にて昼食とふくしまオーガニックコットン製品販売会
13:00	車座ワークショップ
16:00	現地解散 首都圏参加者広野町発
20:00	新宿着

その後10月、12月にはパークフェス、28年3月には防災緑地に首都圏から里親を募り広野町民と共に苗木を育てていくプレゼントツリーを植樹。広野の第一回植樹祭を開催、10年にわたり交流を続けます。

復興地の明日に向けた取り組みを取材くださいますようお願い申し上げます

◆本件についての問い合わせ先：

根本賢仁（広野サステナブルコミュニティ推進協議会 代表）090-7328-2302
吉田恵美子（NPO法人ザ・ピープル 代表）090-2881-3107